

テーマ：消費者物価（全国 3 月、東京都区部 4 月） 発表日：2008 年 4 月 25 日（金）
～食料品価格の上昇により東京都区部がコンセンサス上振れ～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

（単位：％）

		全国					東京都区部				
		総合	生鮮除く総合	食料(酒類除く)及びエネルギー除く総合	石油製品	移動電話通信料	総合	生鮮除く総合	食料(酒類除く)及びエネルギー除く総合	石油製品	移動電話通信料
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
07	1月	0.0	0.0	▲ 0.2	3.4	▲ 0.2	0.1	0.2	0.1	2.6	▲ 0.2
	2月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 2.3	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 2.3
	3月	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 4.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.4	▲ 4.1
	4月	0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 4.1	0.1	0.0	▲ 0.2	0.0	▲ 4.1
	5月	0.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 4.1	0.0	0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 4.1
	6月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.4	1.4	▲ 4.1	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	2.5	▲ 4.1
	7月	0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	2.1	▲ 4.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	3.1	▲ 4.1
	8月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.2	0.4	▲ 4.1	▲ 0.3	0.0	▲ 0.2	0.7	▲ 4.1
	9月	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 4.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 4.1
	10月	0.3	0.1	▲ 0.3	2.3	▲ 4.1	0.1	0.0	▲ 0.3	2.8	▲ 4.1
	11月	0.6	0.4	▲ 0.1	9.3	▲ 3.9	0.3	0.1	▲ 0.1	11.0	▲ 3.9
	12月	0.7	0.8	▲ 0.1	15.1	▲ 3.9	0.4	0.3	▲ 0.1	16.8	▲ 3.9
08	1月	0.7	0.8	▲ 0.1	15.6	▲ 4.0	0.3	0.4	0.0	17.1	▲ 4.0
	2月	1.0	1.0	▲ 0.1	17.5	▲ 2.0	0.4	0.4	▲ 0.1	18.8	▲ 2.0
	3月	1.2	1.2	0.1	18.2	▲ 0.1	0.6	0.6	0.1	19.7	▲ 0.1
	4月	—	—	—	—	—	0.6	0.7	0.0	4.6	▲ 0.1

（出所）総務省統計局「消費者物価指数」

○ 東京都区部がコンセンサス上振れ

3 月の全国消費者物価指数（生鮮食品除く）は前年比+1.2％と、コンセンサス（同+1.2％、レンジ+1.0％～+1.3％）通りとなった。2 月に+1％台に乗せたばかりだが、3 月はそこからさらに伸び率が拡大している。また、4 月東京都区部（生鮮食品除く）も前年比+0.7％と前月の+0.6％から伸びが拡大した。こちらはコンセンサスの同+0.5％（レンジ+0.0％～+0.7％）を上回った。東京都区部は、揮発油税の暫定税率期限切れの影響から伸びが鈍化するとの見方が多かったが、食料品価格の伸びが予想以上に高まったことがコンセンサス上振れに繋がっている。

○ 石油関連製品と食料品に偏った物価上昇

全国 C P I コアの伸び率拡大に最も寄与したのは食料品だ。生鮮食品を除く食料品の寄与度は 2 月の+0.27％ポイントから 3 月は+0.41％ポイントに拡大している。即席めん、チーズ、マヨネーズ、うなぎかば焼などを中心として全般的に伸びを拡大している。また、石油製品の寄与度も 2 月の+0.69％ポイントから 3 月は+0.72％ポイントへと若干拡大した。そのほか、移動電話通信料も、昨年の値下げの影響が剥落したことからマイナス寄与がなくなった（2 月▲0.04％ポイント→3 月 0.00％）。

なお、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合でみると前年比+0.1％（2 月同▲0.1％）とプラスに転じている。前述の移動電話通信料や持家の帰属家賃などの寄与が大きかった。もっとも、食料とエネルギーを除いたベースでプラスに転じてはいるものの、依然として低迷を続けていることには変わらない。もっぱら石油関連製品と食料品に偏った形で C P I が上昇しているという構図に変化はみられておらず、未だ広がりをもった形での物価上昇は実現していない。あくまでコスト高による物価上昇である。

○ 食料品価格の上昇ペースは予想以上

4月の東京都区部消費者物価指数も前年比+0.7%と、2月の同+0.6%から伸びが拡大した。コンセンサスを上回った最大の要因は、やはり食料品価格の上昇だ。生鮮食品を除く食料品の寄与度は3月の+0.24%ポイントから4月は+0.39%ポイントに拡大している。ケーキなどの菓子類、うなぎかば焼きなどの調理食品、ビール等の酒類などの上昇が大きかったほか、ハンバーガーやドーナツを中心に外食も寄与度が拡大している。食料品におけるこのところの上昇幅拡大ペースは、筆者の当初の予想を大きく上回っている。5月以降には小麦価格値上げの影響が出てくることから、今後さらに上昇幅が拡大する可能性が高いことを考えると、食料品が物価を押し上げる構図にはしばらく変化がなさそうだ。

そのほか、火災保険料が昨年の値下げが一巡したことでマイナス寄与がなくなった（3月▲0.02%ポイント→4月0.00%）ことや、ドッグフードの値上げなどもプラスに寄与している。

マイナスに寄与したものとしては、揮発油税の暫定税率期限切れの影響により、ガソリン価格の寄与度が3月の+0.18%ポイントから4月は+0.02%ポイントに縮小したことがやはり目立つ。そのほか、自賠責保険料の引き下げの影響が出たほか、婦人シャツ・セーターを中心として衣服及び履物がマイナス転化している。

もっとも、全体としてみれば、こうしたマイナス要因をプラス要因が上回っており、C P Iの伸びは若干拡大することになった。

○ 暫定税率期限切れの影響で、4月は一時的に伸び鈍化か

東京都区部の動向から試算すると、4月の全国消費者物価指数（コア）は前年比+1.0%（もしくは+0.9%）が予想される。3月から伸び率は鈍化するものの、引き続き日本にしては高い伸びを維持する見込みだ。なお、4月の東京都区部では伸び率が拡大した一方で全国では伸びが鈍化する理由としては、ガソリンのウェイトの違いが挙げられる。電車等公共交通機関の利便性が高い東京都区部ではガソリン使用量が少ないため、ガソリン価格値下げの影響は相対的に小さかった。一方、全国ベースでみればガソリン値下げの影響は大きく、4月のガソリン価格の寄与度は、3月に比べて前年比で▲0.43%ポイント程度縮小する見込みである。また、自賠責保険料値下げの影響も全国の方が大きい（寄与度：3月同0.00%ポイント→4月：▲0.09%ポイントを予想）。

もっとも、ガソリン価格が大幅に下落する割には、4月の全国C P Iの伸び率鈍化幅は小さいものにとどまると予想される。前年比+1%の大台（？）もギリギリ維持するのではないか。東京都区部で確認された通り、食料品価格の上昇寄与が高まる可能性が高いほか、電気代・ガス代の上昇も寄与する（東京都よりは値上げ幅は小さいが）見込みだ（電気代・ガス代の寄与度：3月同+0.12%ポイント→4月：+0.24%ポイントを予想）。火災保険料のマイナス寄与剥落も若干押し上げに寄与するだろう。

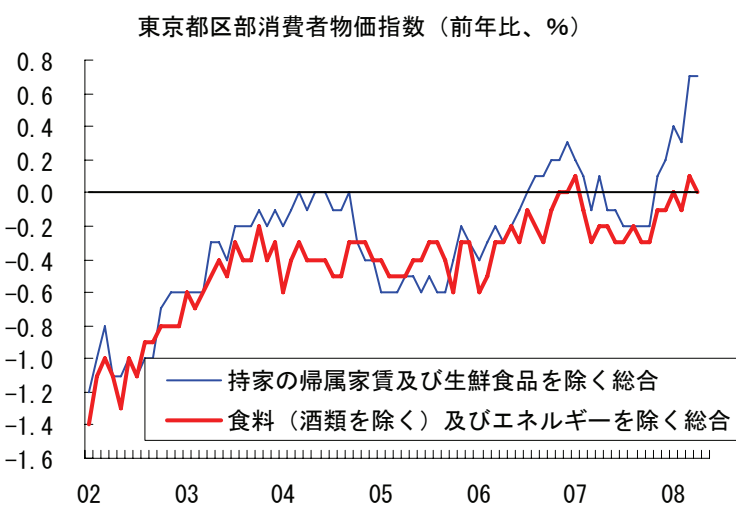
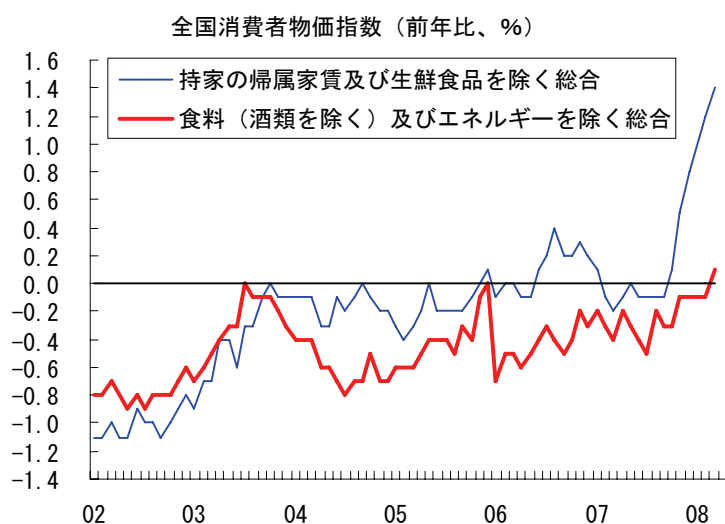
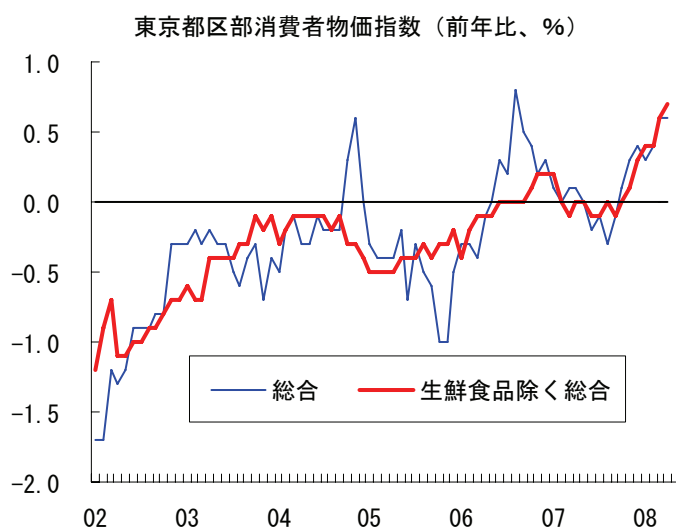
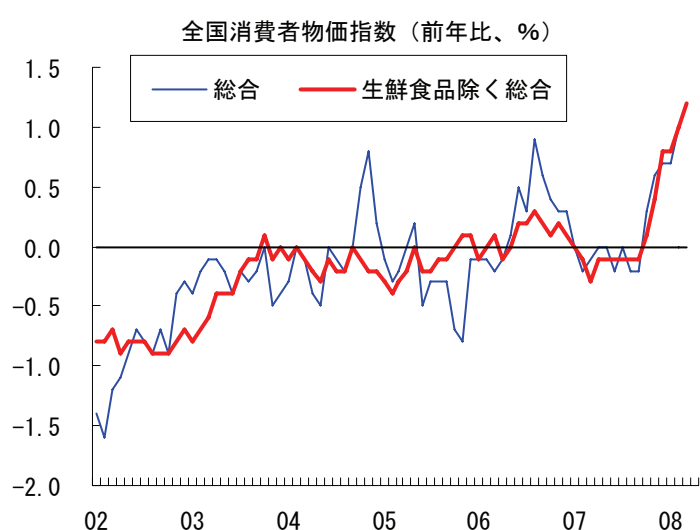
○ 上振れリスクが高まる消費者物価

消費者物価指数の先行きについては、上振れの可能性が高まっている。筆者は以前、昨年の原油価格上昇ペースが速かった裏が出ることから、前年比でみると石油製品価格のプラス寄与は3月をピークとして縮小していくと考えていた。しかし、原油価格の高騰にまだ歯止めがかかっていないことを考えると、想定していたよりもプラス寄与縮小が進まない可能性が高まってきた。電気・ガス代の値上げも無視できない。加えて、食料品価格が予想以上に上昇していることもC P I上振れに繋がる。小麦価格値上げの影響が5月以降に出てくることなどもあり、食料品価格のプラス寄与は今後も拡大するだろう。C P I全体で見ても、しばらくは前年比+1%を上回ってくるのではないか。

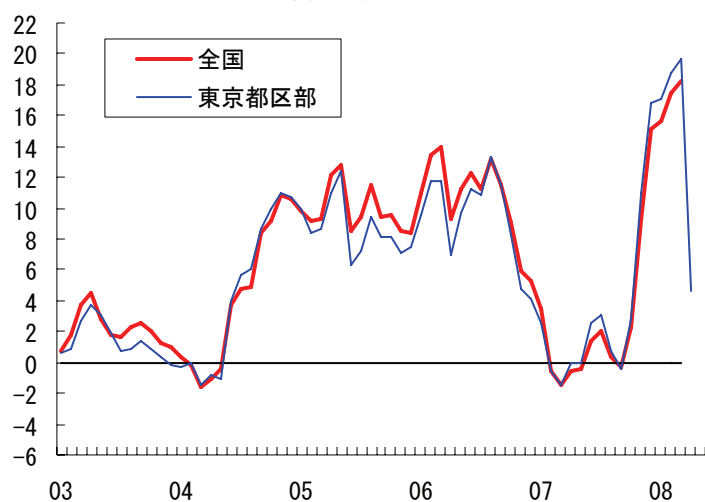
原油価格次第ではあるが、08年度でみてもC P I 上昇率は+ 1 %を超える可能性が出てきている。4月のE S Pフォーキャストでは、民間エコノミストによる08年度のC P I 上昇率コンセンサスは+0.66%となっているが、これは今後上方修正されてくる可能性が高そうだ。

○ 5月には再び伸び率拡大へ

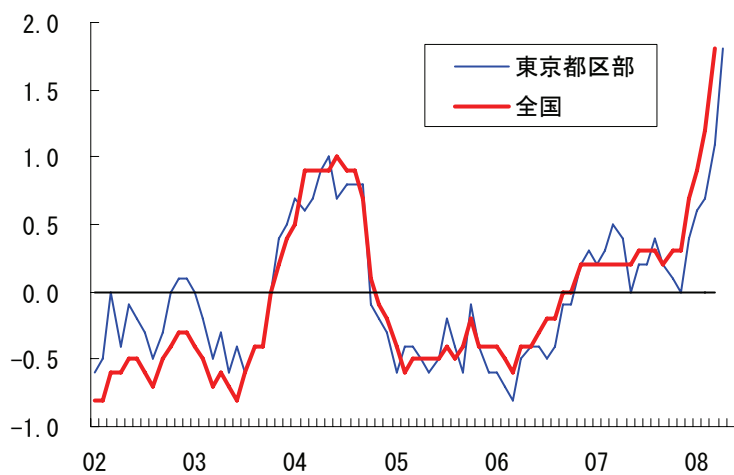
4月の全国C P I は揮発油税の暫定税率期限切れの影響で一時的に鈍化するが、5月に暫定税率が復活すれば再び伸びが高まるだろう。なお、法案成立後すぐにガソリン値上げが実施されるかどうかは不透明だが、C P I ガソリン価格の調査日は、毎月12日を含む週の水木金のいずれか一日であるため、それまでには低税率分の在庫はなくなり、値上げは行われている可能性が高い。値上げ分は5月のC P I に反映されるとみられる。



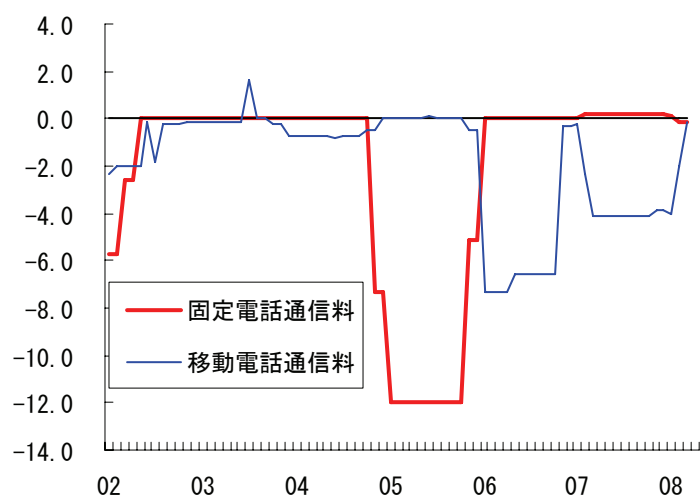
石油製品（前年比、%）



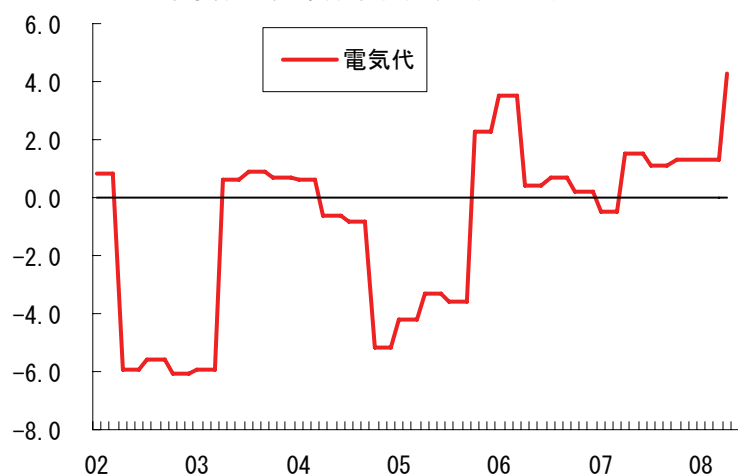
生鮮食品を除く食料（前年比、%）



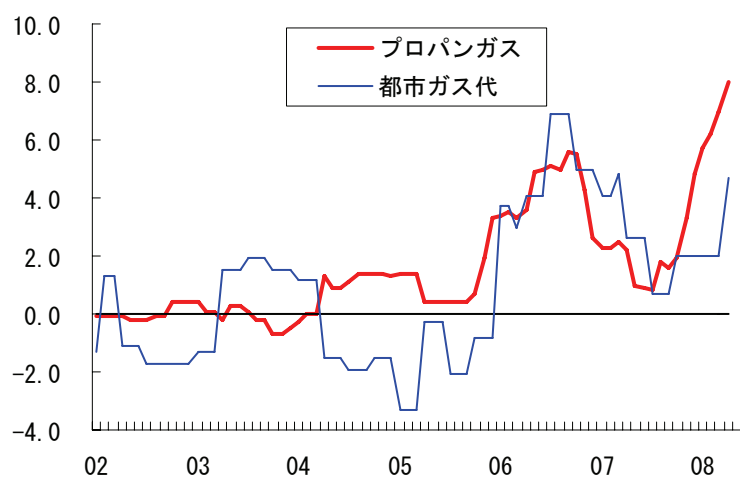
全国消費者物価指数（前年比、%）



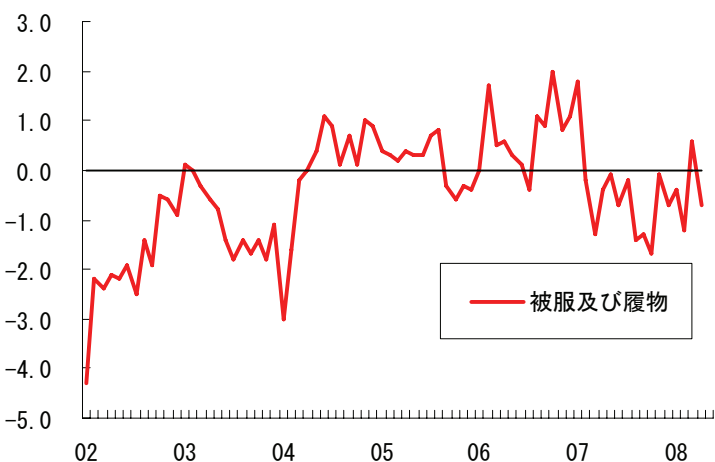
東京都区部消費者物価指数（前年比、%）

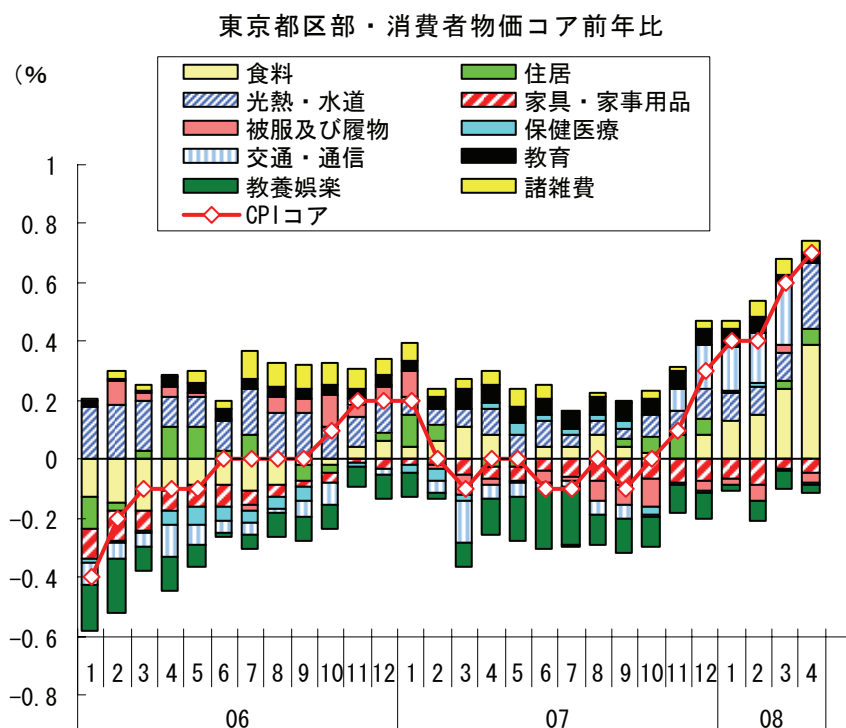
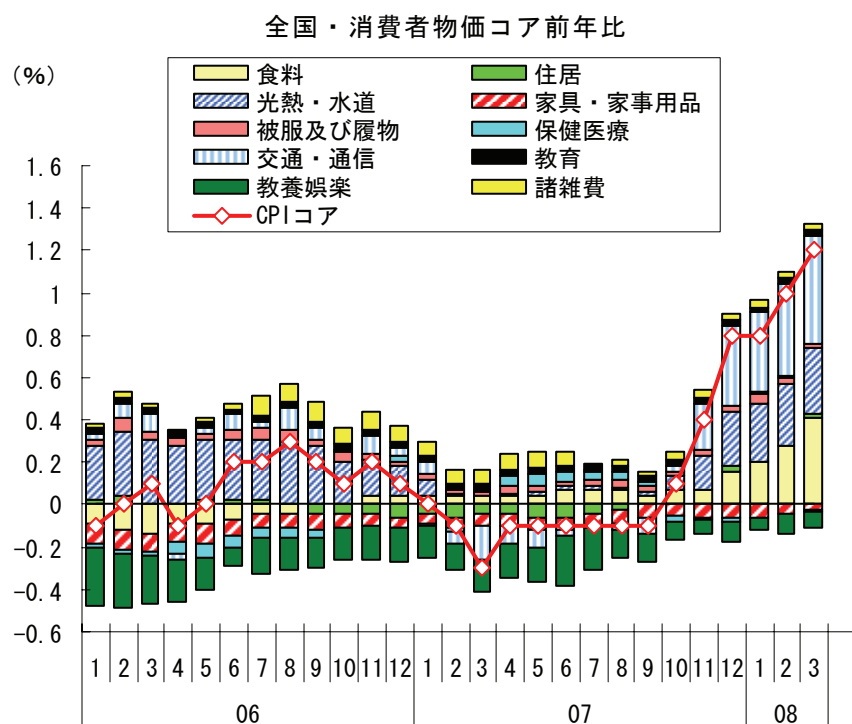


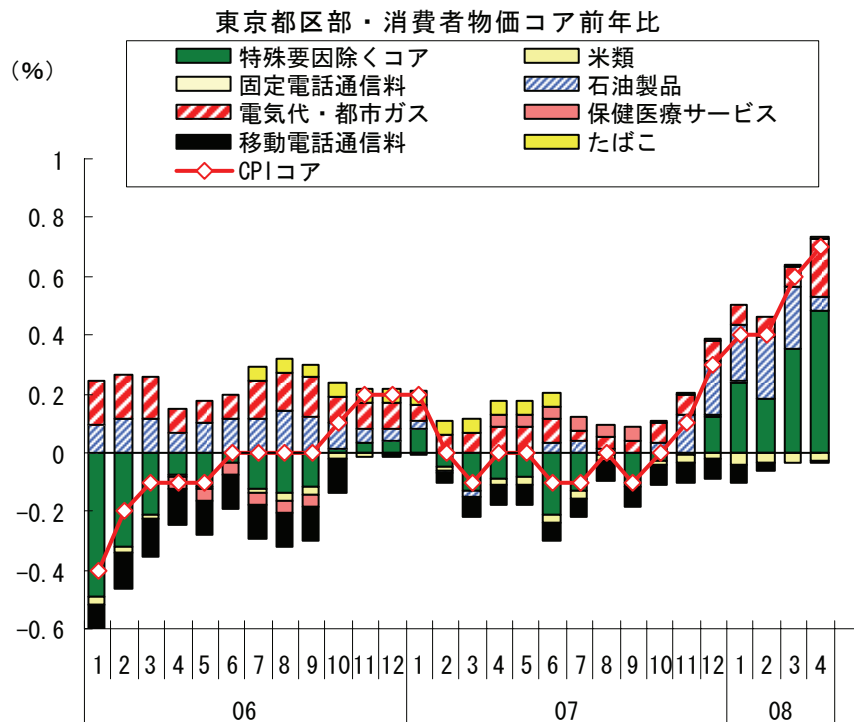
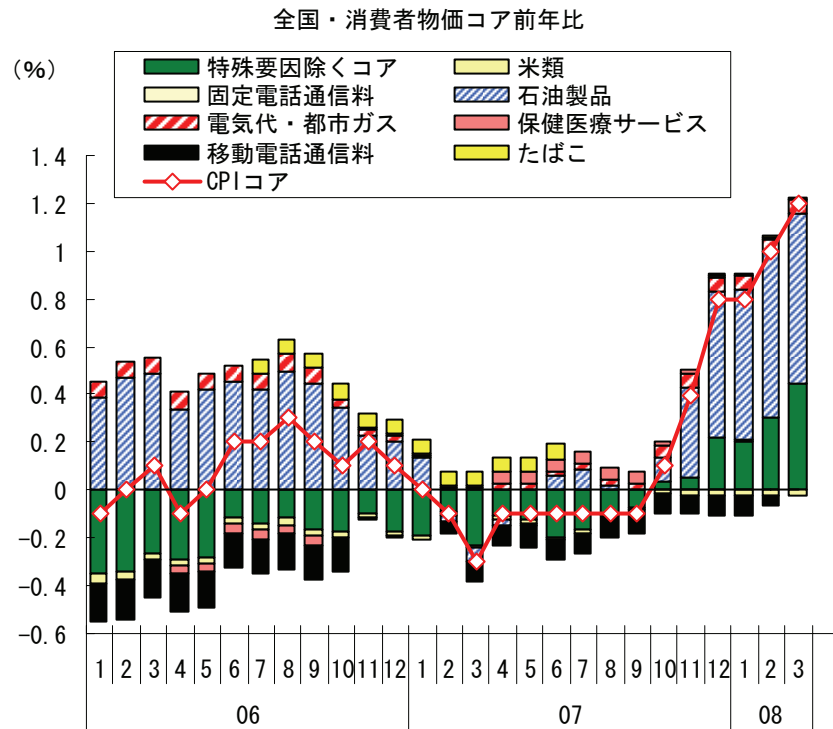
東京都区部消費者物価指数（前年比、%）



東京都区部消費者物価指数（前年比、%）







グラフの出所はすべて総務省統計局「消費者物価指数」